緑を愛でる、風を愉しむ

HOUSING by SUUMO

9
2017 | SEP
¥510

働き方＋住まい方で考える

自然と暮らす家

1年後、5年後、10年後
わが家の成功と失敗

いつでも最先端の暮らしを
未来家電&設備に
アップデートできる家

キッチンから壁紙まで自分好みに
注文住宅の『選ぶ』楽しさ

OFFの時間にくつろぎを
緑と暮らす家
20のアイデア

実例
家事&子育てを楽しむ家

リサイクル
この本は

RECRUIT

掲載内容についてのお問い合わせはSUUMOホットライン0120-305-444

1年後、5年後、10年後

わが家の成功と失敗

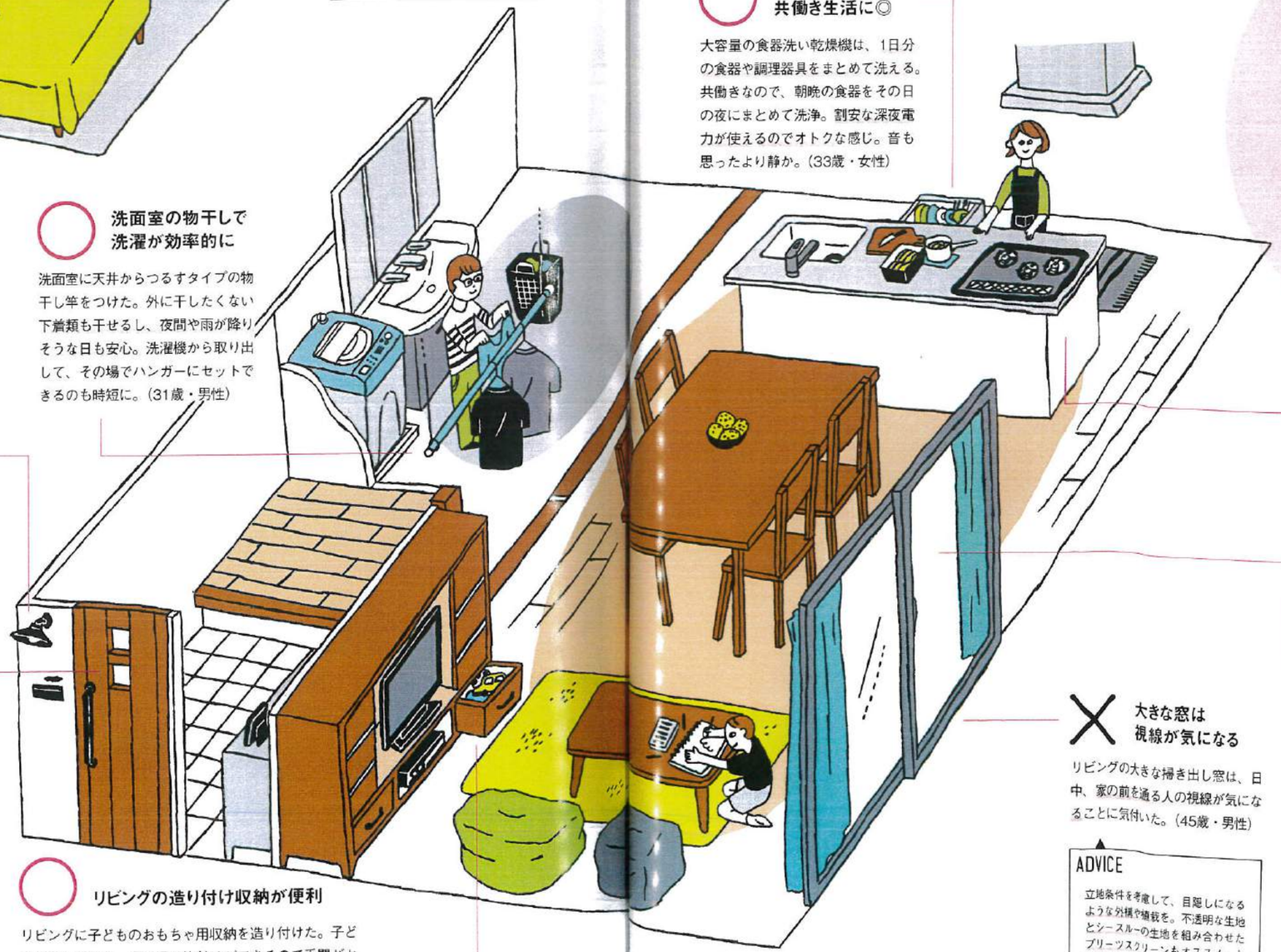
「家は3回建ててやっと満足できる」といわれるが、一生のうちでも大きな買い物だけに、
できることなら1回で成功したいもの。そこで大切なのが、すでに家づくりを経験した先輩たちの話を聞くことだ。
さまざまな成功談・失敗談や、プロからのアドバイスを参考に、末永く満足して暮らせる家を建ててほしい

構成・取材・文／川口直子　イラスト／徳丸ゆう　デザイン／吉田憲司
調査概要／15年以内に注文住宅を建てた全国の男女へのアンケート調査（有効回答数400、2017年5月実施、HOUSING調べ）調査協力／エコンテ

1年後 の成功と失敗

朝・昼・夜編

住み始めてすぐに気が付く失敗や、
逆に「こうしておいてよかった」
と思える成功がある。
朝から夜までの時間ごとに実感する
先輩たちの体験談を紹介しよう



○ 大容量の食洗機が共働き生活に◎

大容量の食器洗い乾燥機は、1日分の食器や調理器具をまとめて洗える。共働きなので、朝晩の食器をその日の夜にまとめて洗浄。割安な深夜電力が使えるのでオトクな感じ。音も思ったより静か。（33歳・女性）

○ 会話が弾むオープンキッチン

学校から帰った子どもがダイニングで宿題をしたり、リビングでゲームをするので、室内が見渡せるオープンキッチンでよかった。家事をしながらの子どもとのコミュニケーションがスムーズ。（47歳・女性）

× 家具やカーテンが日差しで傷みそう

夕方、西側の窓から入る日差しが思いのほかきつかった。家具やカーテンが色あせしそう。（44歳・女性）

ADVICE

強い日差しの入る窓には、遮熱タイプのLow-E複層ガラスを採用することをオススメする。太陽光の紫外線を大幅にカットして、家具などの退色を防いでくれる。また、太陽熱の侵入も防ぐので快適に過ごせる。

× 大きな窓は視線が気になる

リビングの大きな掃き出し窓は、日中、家の前を通る人の視線が気になることに気付いた。（45歳・男性）

ADVICE

立地条件を考慮して、目隠しになるような外構や植栽を。不透明な生地とシースルーの生地を組み合わせたプリーツスクリーンもオススメ。上部だけシースルーにするなど、雰囲気的な使い方ができる優れもの。

○ リビングの造り付け収納が便利

リビングに子どものおもちゃ用収納を造り付けた。子どもが遊んだあと、その場で片付けができるので手間がかからず、見た目もスッキリで満足。小学生になったら、学習用品などをしまう場所にする予定。（32歳・女性）

○ 採光・換気可能な玄関ドアがGOOD

玄関ドアは小窓付きのタイプにした。小さくても採光効果があり、玄関（屋内側）が明るくて気持ちがいい。また、少し開けて換気もできるタイプだが、人は入れない窓の大きさで防犯面でも安心。（39歳・女性）

× 夜に帰宅すると玄関が真っ暗……

自分が最初に帰宅すると玄関が真っ暗で不便。防犯上もよくないように思う。（47歳・男性）

ADVICE

玄関には、人の出入りを検知して自動で点灯・消灯する人感センサー付き照明や、周囲が暗くなると自動で点灯し、明るくなると自動で消灯するタイプの照明がオススメ。防犯を考え、外構にも照明を設置しよう。

○ 洗面室の物干しで洗濯が効率的に

洗面室に天井からつるすタイプの物干し竿をつけた。外に干したくない下着類も干せるし、夜間や雨が降りそうな日も安心。洗濯機から取り出して、その場でハンガーにセットできるのも時短に。（31歳・男性）

× ダウンライトがまぶしくて困る

寝室のダウンライトは、ベッドに横になると真上に光源があり、まぶしくてつらい。（44歳・男性）

ADVICE

寝室の照明は、横になったときに光源が直接目に入らないよう、ベッドと照明器具の位置に配慮しよう。直接照明と間接照明を組み合わせた照明計画のほか、調光機能付きや、角度の変えられる照明器具を採用するのもオススメ。

× 寝室脇のトイレは音が気になる……

夜中に便利だと思い、寝室の隣にトイレを配置したが、水音が響いて目が覚めてしまう。（53歳・女性）

ADVICE

夜中にトイレに行くことを考えると、寝室に近い方がラク。ただし隣接させる場合は、間の壁に遮音材を入れたり、寝室とトイレの間に収納スペースを設けよう。45cm程度の奥行きでも遮音効果が期待できる。

アドバイスをいただいたのは

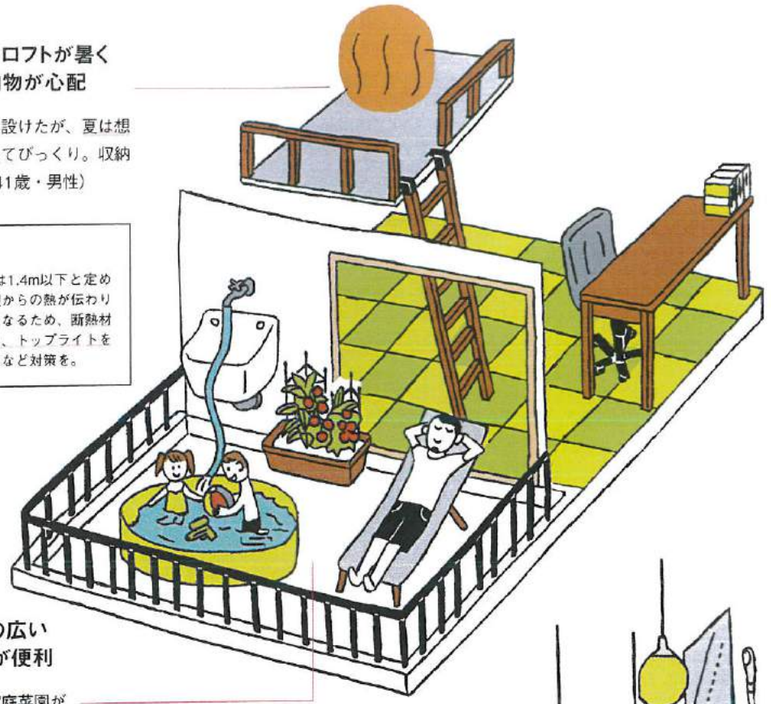
生活デザイン設計室サンク
一級建築士事務所 代表
古屋 茂子さん

女性・主婦の目線で、住む人それぞれのライフスタイルを見据えた心地よい住まいと暮らしを提案している

1年後の成功と失敗

春夏秋冬編

住み始めて気が付く失敗には、春夏秋冬を一通り経験してみてわかるものも。新しい住まいに1年間暮らして実感した、先輩たちの成功&失敗を知ろう



✕ 夏のロフトが暑く収納物が心配

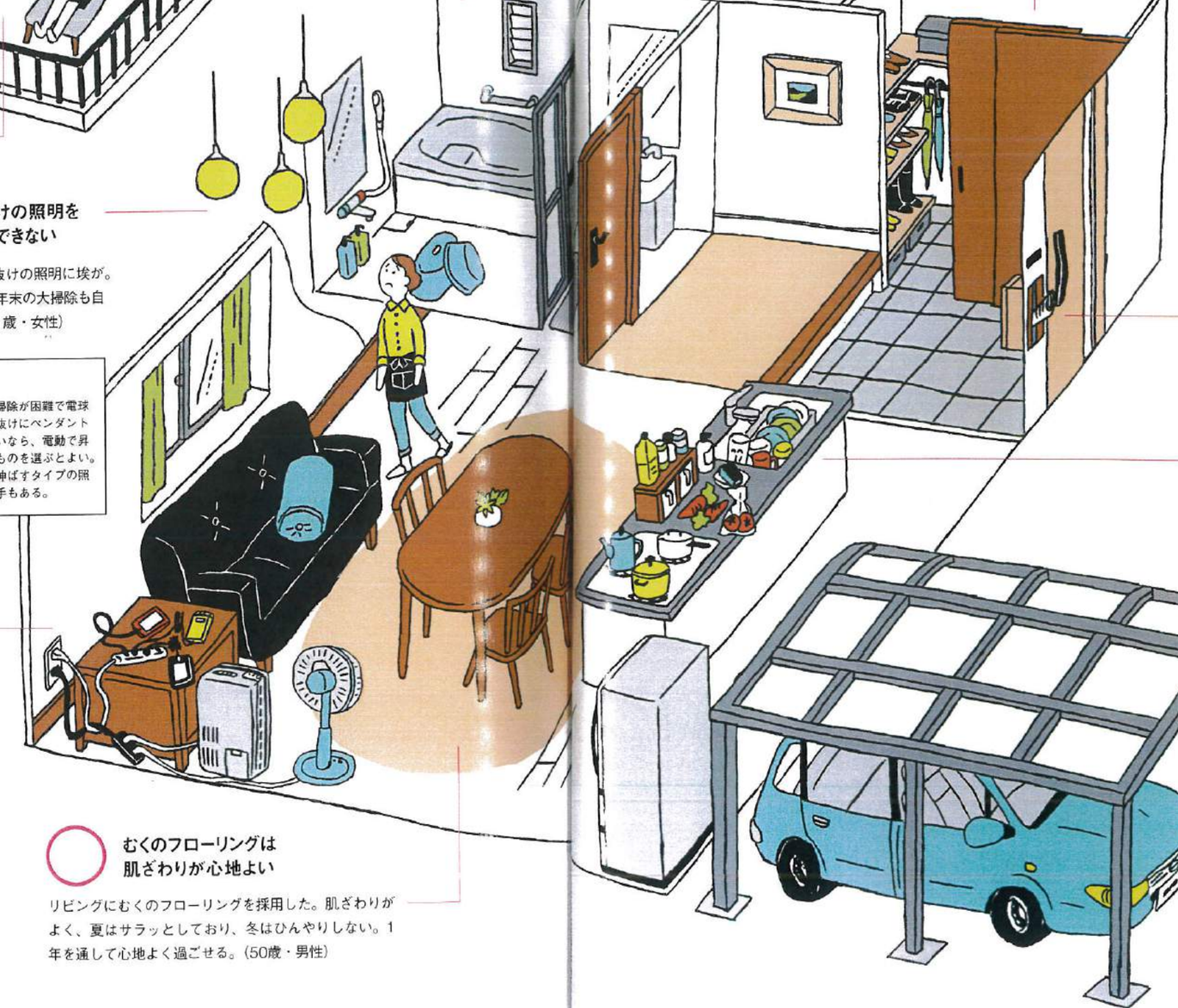
物置用にロフトを設けたが、夏は想像以上に暑くなってびっくり。収納物が傷みそう。（41歳・男性）

ADVICE

ロフトの天井高は1.4m以下と定められており、屋根からの熱が伝わりやすい。夏は暑くなるため、断熱材を厚めに入れたり、トップライトを設置して換気するなど対策を。

○ シンク付きの広いバルコニーが便利

バルコニーを広く取り、家庭菜園ができるように水栓とシンクをつけた。水やりに便利だし、夏はビニールプールを置いて子どもの遊び場にも。いろいろな用途に活用できるお気に入りのスペース。（40歳・男性）



✕ 梅雨や冬に洗濯物が乾かない

梅雨どきや冬場、洗濯物が乾かなくて苦労した。リビングに干すのは見栄えが悪いし……。（40歳・女性）

ADVICE

雨天時や寒い時期、花粉の季節など、外に洗濯物が干せないときでも、浴室暖房乾燥機があれば365日洗濯物を乾かせる。乾燥機能は浴室内のカビ防止にも。また、暖房や冷風機能で真夏や真冬も快適に入浴できる。

✕ シューズクロゼットがジメジメする

シューズクロゼットは、傘やアウターもしまえて便利だが、梅雨どきは湿気がたまる。（42歳・女性）

ADVICE

窓がなく扉で閉じられた空間は、空気がよどんで湿気がたまりがち。換気扇をつけるか、小さくても通風ができる窓をつけることをオススメする。また、吸放湿機能をもつ機能性壁材などを採用するのも効果的。

○ 室内で受け取れる郵便受けが便利

玄関ドアの脇に、室内から取り出しができるタイプの郵便受けをつけた。寒い冬や雨の日に、外の郵便受けまで取りに行かなくて済むのは助かる。パジャマ姿のままで朝刊を受け取れるのもラクチン。（31歳・男性）

✕ 吹抜けの照明を掃除できない

住んで1年経ち吹抜けの照明に埃が。脚立でも届かず、年末の大掃除も自力でできない。（31歳・女性）

ADVICE

高所の照明器具は掃除が困難で電球交換も大変だ。吹抜けにペンダントライトをつるしたいなら、電動で昇降できるタイプのものを選ぶとよい。壁面からアームを伸ばすタイプの照明器具を設置する手もある。

✕ コンセントの数が足りなくなった

コンセントが足りない。特に夏は扇風機や除湿機がフル稼働で、慢性的にコンセント不足。（51歳・男性）

ADVICE

昔はなかった新しい電化製品がどんどん増えつつある現代、コンセントは多めに設けておいて損はない。スマホやタブレットの充電用なら、リビングの造り付けカウンターの手元など、腰高の位置にあると便利。

✕ 乱雑さもニオイもバレバレ……

オープンキッチンに、段々とものがあふれてきた。特に夏場は食べ物のニオイも気になる。（40歳・女性）

ADVICE

オープンキッチンにはパントリー（食品庫）を設けたい。リビングから見えないバックヤードがあれば見た目をいつもキレイに保てる。半畳程度でOKなので、買い置きの食材や普段使わない調理道具を置けるスペースを確保しよう。

○ 車が傷みにくく濡れずに玄関へ

駐車スペースに、屋根をつけてよかった。直射日光が当たらず、車が傷みにくい。雨や雪の日に傘をささなくても、玄関まで濡れずに行けるため、買い物の荷物が多いときにあせらなくて済む。（29歳・女性）

○ むくのフローリングは肌ざわりが心地よい

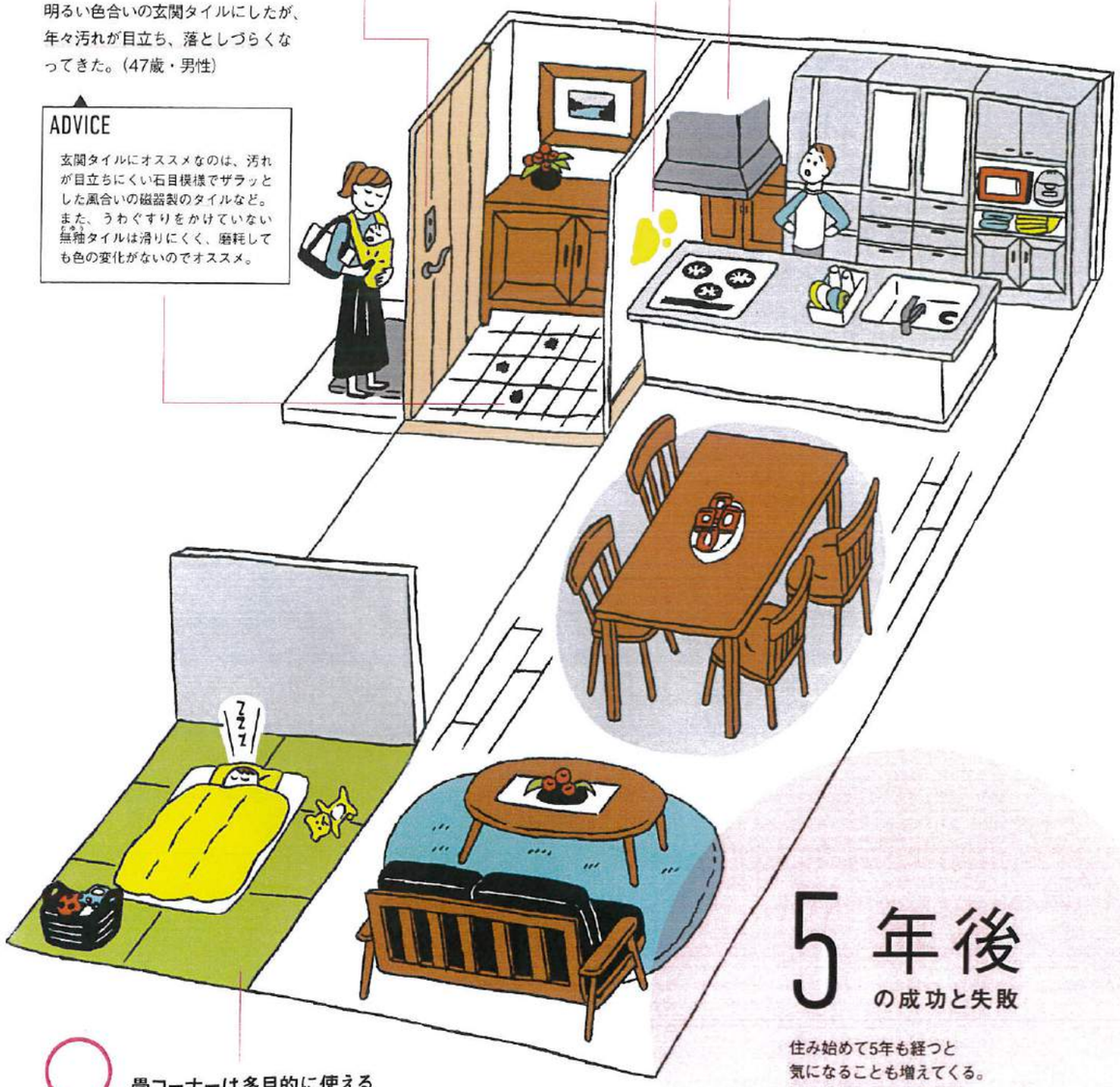
リビングにむくのフローリングを採用した。肌ざわりがよく、夏はサラッとしており、冬はひんやりしない。1年を通して心地よく過ごせる。（50歳・男性）

1年後の失敗を防ぐための知恵

間取りを眺めているだけでは気付かない盲点も多い。朝起きてから夜寝るまでの暮らしをイメージし、図面上でシミュレーションすると◎。季節ごとの特性も考え、今の暮らしで困っていることがあれば、それを解消できる方法を間取りに反映しよう。

5年後の成功と失敗

住み始めて5年も経つと
気になることも増えてくる。
汚れや傷みはその代表格。
家族が増えたり成長することで
気付いた先輩の体験談を参考に



○ リモコンキーなら施開錠がラク

ワンプッシュで施開錠できる、リモコンキー式の玄関錠を採用した。最初はぜいたくだったかもしれないと思ったが、赤ちゃんが生まれて両手がふさがることが多くなり、毎日重宝している。(32歳・女性)

× キッチンの壁に食材のシミが……

キッチンの壁の汚れが目立つ。気が付かないうちに食材や油がはねてシミになったようだ。(50歳・男性)

ADVICE

コンロまわりの壁には汚れを落としやすいキッチンパネルを張るのがオススメ。さらに可能ならば、キッチンの壁全体にキッチンパネルを張ろう。これで、思わぬハネやシミがあってもお手入れがラクに。

× レンジフードの手入れが面倒

レンジフードの油汚れが蓄積し、大掃除が憂鬱(ゆううつ)に。年々、高所の作業も辛くなり……。(39歳・男性)

ADVICE

最近のレンジフードは整流板を装備してフィルターに油をつきにくくしたものが一般的に。さらに、自動洗浄機能付きで、フィルターを外さずにボタン一つで洗浄するタイプならラクだ。10年掃除不要の商品も。

× 玄関タイルの汚れが目立つ

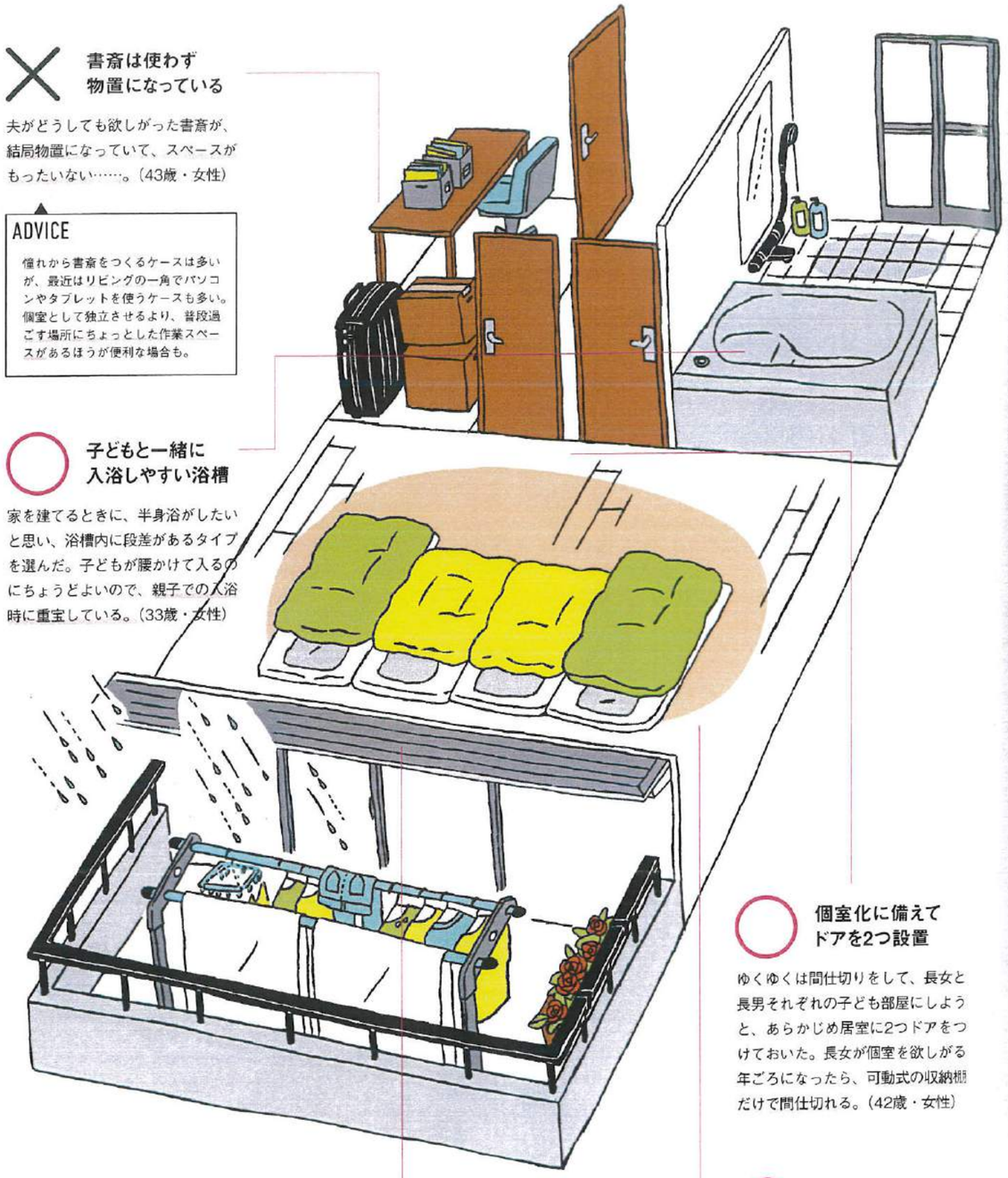
明るい色合いの玄関タイルにしたが、年々汚れが目立ち、落としづらくなってきた。(47歳・男性)

ADVICE

玄関タイルにオススメなのは、汚れが目立ちにくい石目模様でザラッとした風合いの磁器製のタイルなど。また、うわぐすりをかけていない無釉(むゆう)タイルは滑りにくく、磨耗しても色の変化がないのでオススメ。

○ 畳コーナーは多目的に使える

リビングの一角を畳コーナーに。子どもの昼寝や、具合が悪いとき看病するにもキッチンが近くて便利。プレイルームとしても活用。インテリアにマッチするよう、縁のない琉球畳を選んだのもよかった。(35歳・女性)



× 書斎は使わず物置になっている

夫がどうしても欲しがった書斎が、結局物置になっていて、スペースがもったいない……。(43歳・女性)

ADVICE

憧れから書斎をつくるケースは多いが、最近はリビングの一角でパソコンやタブレットを使うケースも多い。個室として独立させるより、普段過ごす場所にちょっとした作業スペースがあるほうが便利な場合も。

○ 子どもと一緒に入浴しやすい浴槽

家を建てるときに、半身浴がしたいと思い、浴槽内に段差があるタイプを選んだ。子どもが腰かけて入るのにちょうどよいので、親子での入浴時に重宝している。(33歳・女性)

○ 個室化に備えてドアを2つ設置

ゆくゆくは間仕切りをして、長女と長男それぞれの子ども部屋にしようと、あらかじめ居室に2つドアをつけておいた。長女が個室を欲しがる年ごろになったら、可動式の収納棚だけで間仕切れる。(42歳・女性)

× ベランダの軒が短く雨がふきこむ

子どもが生まれて洗濯物が増え、ベランダにびっしり干している。雨が降ると毎回大慌て。(35歳・女性)

ADVICE

軒の短いベランダは、いざ雨が降るとびしょ濡れになってしまう。軒の出を深くすれば、少しの雨ならしのげる。安心して洗濯物を干しておきたいなら、屋内にサンルームをつくるという手もあるので検討を。

○ 将来の子ども部屋を今は家族の寝室に

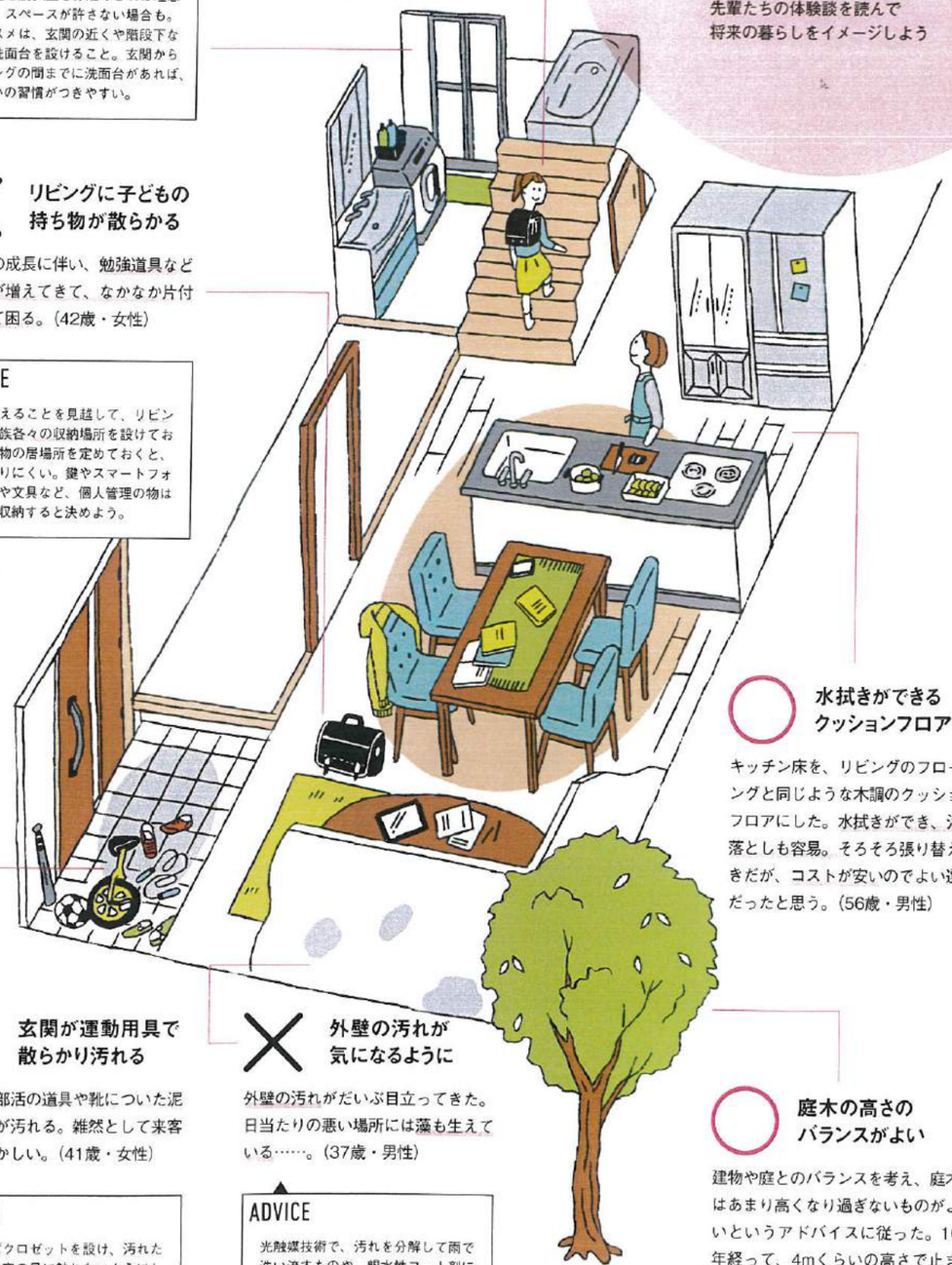
子どもたちが小さいときは個室は不要と考え、広めの洋室を1室つくった。今は家族の寝室として利用している。4人分の布団を敷いてもゆったり。友だちが大勢来たときはプレイルームにも。(40歳・男性)

5年後の失敗を防ぐための知恵

新築時はキレイでも、徐々に汚れていくのは避けられない。汚れがつきにくい、ついても落としやすい設備や建材を選ぶと後々ラクだ。入居後、子どもが増えたり成長して気付くこともあるので、子育て経験のある設計士にアドバイスをもらうのも◎。

10年後の成功と失敗

築10年ともなると経年劣化やライフスタイルの変化による問題が生じ始める時期。先輩たちの体験談を読んで将来の暮らしをイメージしよう



○ リビング階段で子どもの様子を把握

子どもの成長に伴い、リビング階段にしてよかったとつくづく思う。学校から帰宅したときの表情をさりげなくチェックでき、友だちを家に連れて来たときも、どんな感じの子かわかるので安心。（44歳・女性）

× 娘の入浴中は洗面室が使えない

年ごろの娘が入浴しているときは、洗面室に入りづらい。洗面室と脱衣室を分ければよかった。（50歳・男性）

ADVICE

洗面室と脱衣室を分離できれば理想だが、スペースが許さない場合も。オススメは、玄関の近くや階段下などに洗面台を設けること。玄関からリビングの間までに洗面台があれば、手洗いの習慣がつきやすい。

× リビングに子どもの持ち物が散らかる

子どもの成長に伴い、勉強道具など持ち物が増えてきて、なかなか片付かなくて困る。（42歳・女性）

ADVICE

物が増えることを見越して、リビングに家族各々の収納場所を設けておこう。物の居場所を定めておくと、散らかりにくい。鍵やスマートフォン、本や文具など、個人管理の物はそこに収納すると決めよう。

○ 水拭きができるクッションフロア

キッチン床を、リビングのフローリングと同じような木調のクッションフロアにした。水拭きができ、汚れ落としも容易。そろそろ張り替えどきだが、コストが安いのでよい選択だったと思う。（56歳・男性）

× 玄関が運動用具で散らかり汚れる

子どもの部活の道具や靴についた泥で、玄関が汚れる。雑然として来客時に恥ずかしい。（41歳・女性）

ADVICE

シューズクロゼットを設け、汚れたものは来客の目に触れないようにしつつ、水を流して掃除できるようにするとラク。運動用具や園芸用品など泥汚れのもの専用の、外から出し入れできる収納を設けても◎。

× 外壁の汚れが気になるように

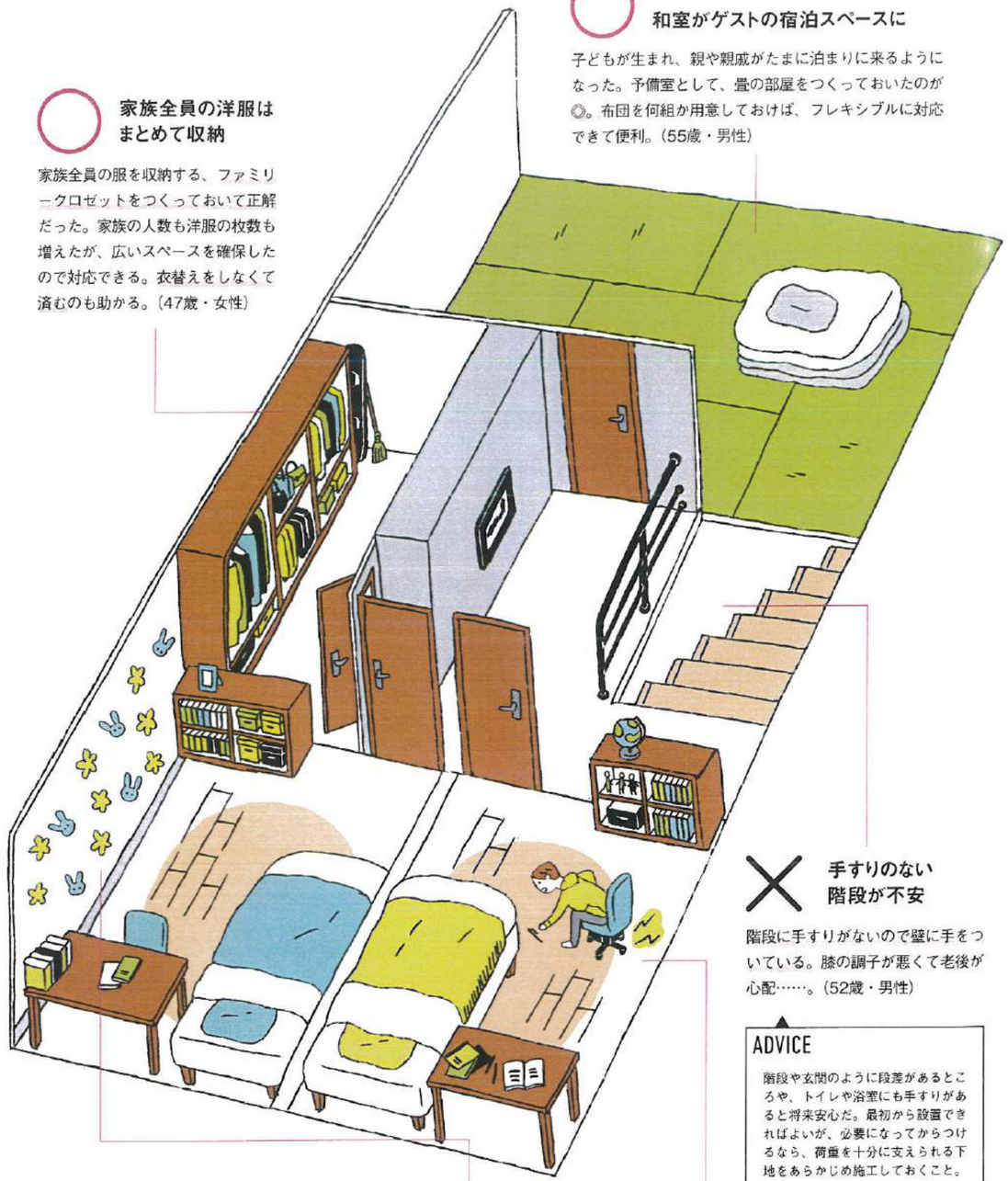
外壁の汚れがだいぶ目立ってきた。日当たりの悪い場所には藻も生えている……。（37歳・男性）

ADVICE

光触媒技術で、汚れを分解して雨で洗い流すものや、親水性コート剤によりカビや藻がつきにくいものなど、防汚技術を駆使した外壁材が出ている。メンテナンスの手間やランニングコストを考えて検討しよう。

○ 庭木の高さのバランスがよい

建物や庭とのバランスを考え、庭木はあまり高くなり過ぎないものがよいというアドバイスに従った。10年経って、4mくらいの高さで止まり、シンボルツリーとしてちょうどいい感じに。（45歳・女性）



○ 家族全員の洋服はまとめて収納

家族全員の服を収納する、ファミリークロゼットをつくっておいて正解だった。家族の人数も洋服の枚数も増えたが、広いスペースを確保したので対応できる。衣替えをしなくて済むのも助かる。（47歳・女性）

○ 和室がゲストの宿泊スペースに

子どもが生まれ、親や親戚がたまに泊まりに来るようになった。予備室として、畳の部屋をつくっておいたのが◎。布団を何組か用意しておけば、フレキシブルに対応できて便利。（55歳・男性）

× 手すりのない階段が不安

階段に手すりがないので壁に手をついている。膝の調子が悪くて老後が心配……。（52歳・男性）

ADVICE

階段や玄関のように段差があるところや、トイレや浴室にも手すりがあると将来安心だ。最初から設置できればよいが、必要になってからつけるなら、荷重を十分に支えられる下地をあらかじめ施工しておくこと。

× かわいい壁紙を嫌がるように……

新築時、子ども部屋の壁紙をかわいい柄にしたのだが、大きくなると嫌がるようになった。（50歳・女性）

ADVICE

成長とともに、幼なすぎる仕様はふさわしくなくなる。小さいうちはかわいい壁紙を楽しみたいなら、時期がきたら張り替える、あるいは壁紙の上から塗れるペンキなどで模様替えするのもいいだろう。

○ 2階の生活音が気にならない床材

2階のフローリングを防音仕様にしておいて正解。子どもが成長し生活の時間帯も変わってきたが、上階の音が気にならない。前の家は、小さなものを落としただけでもかなり響いていたので……。（46歳・女性）

10年後の失敗を防ぐための知恵

設備や建材は、耐久性の高いものを選べば長持ちするがその分割高になることが多い。ランニングコストを考えつつ、交換に手間がかかるものを優先するのも一つの手だ。また、ライフスタイルの変化に対応しやすい間取りにしておくことも大切。